

2020年11月11日第98回BABOK研究会議事録

PM学会中部支部

IIBA日本支部

1. 日時

2020年11月11日（水） 19:00～21:00

2. 場所

Zoom（Web会議システム）

3. 出席者

（敬称略順不同）

近藤、中村、濱井、竹川、河村、金田、諏方、藤重、大橋、川島（美）、
鈴木（記） 以上11名

4. 議題

- （1） ニーズ、シーズから、Causal Loop Diagramを作成
- （2） その他連絡・相談事項など

5. 議事

- （1） ニーズ、シーズから、Causal Loop Diagramを作成

前回からの宿題として、鈴木が全ペルソナのニーズとシーズを一つのMAPに纏めた。それをベースに近藤座長がニーズとシーズの集約を行い、Causal Loop Diagramを作成した。内容について近藤座長から説明。

今回は関係線の色分けしていないので協調ループ、均衡ループが直感的に見えにくい。最終的には色分けする予定。黄色で色分けされたBOXがビジネスドライバだが、ドライバのレバレッジの効果や難易度はまた別に定義する。あとはデータさえあれば定量モデルが出来るはずだが、更に充実させてゆく前に、図の構成上大事な抜けがないかをチェックしたい。目を変えて漏れ抜けが無いか、皆さんにチェックしていただきたい。

図としては良いように思うが、漏れの有無はニーズシーズの洗い出しレベルで見方が確認できるのではないかと意見があった。

一見して「ワーケーション導入のために社内関係者を巻き込む」に線が集中している。ここがキーポイントに見える。ただ、「ワーケーション導入のために社内関係者を巻き込む」に向かっている関係線は、それぞれ異なるステークホルダーから出ているので、詳細に検討すると「社内関係者」を分ける必要が出てくるかも

しれない。ただし広い観点で関係線が「ワーケーションに関心を持つ様々な人」に収束していると見做せば、そういった人を如何に巻き込むかがこのCausal Loop Diagramのポイントと言えるかもしれない。

ワーケーションの費用は誰が出すのか、企業とした場合、企業のメリットは何かがこのCausal Loop Diagramでは見えにくいという意見があった。それについてはベースとなるニーズ、シーズで、ワーケーション企画側のニーズがロジックツリー構造の形に深掘してなかったためともいえる。近藤座長がCausal Loop Diagram反映後に、鈴木が企業側のニーズを、ビジネスチャンスや企業価値の向上の観点で少し深掘し、ニーズとシーズのMAPに追記していたので、それを反映してもよい。ただ、やはり「社内関係者を巻き込む」ためには直接的に利益につながるメリットがあった方がよい。例として、オフィスの賃料を下げるとか、ワーケーション補助金が入るとか、社員の通勤交通費を減らせるなど、両面で追加するのが良い。心の病の問題も、社会保障コストの問題だけではなく、企業コストに大きく影響する。それについては経費削減の観点だけではなく、利益が増加する観点の項目もあるべきとの意見があった。「ワーケーション活用の先進性を会社の広報活動に活かす」については、DCRのマンマーオフショアなどの事例もある。

以上のような議論の結果をCausal Loop Diagramに反映したものを再度レビューして次回の研究会に間に合わせたい。そのため、次週18日までにたたき台を作り、参加できるメンバーだけでレビュー実施するものとする。ZOOMアカウント確保については可能であれば鈴木が、難しかった場合は事務局で検討する。

(2) その他連絡・相談事項など

宿題

drawioの追加版ニーズ、シーズのマップを近藤座長に渡す。(鈴木)

Causal Loop Diagramに追加版および議論の結果を作成する。(近藤)

PM学会シンポジウムのお知らせ

今年はオンライン（ZOOM）開催となります。

日時は2020年11月26日 14:30～18:00

BABOK研究会の今年度研究成果の発表を予定しています。

詳細は[リンク先](#)へ

6. 次回予定

(1) 日程

第99回 2020年 11月18日（水） 19:00～21:00

(2) 場所

ZOOM (Web会議システム) 予定

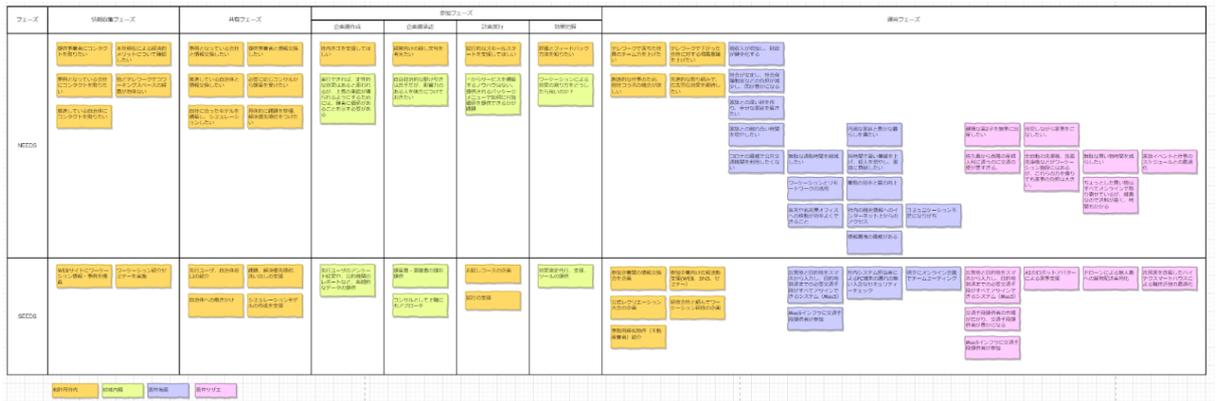
(3) 議事予定

Causal Loop Diagramに追加版のレビュー

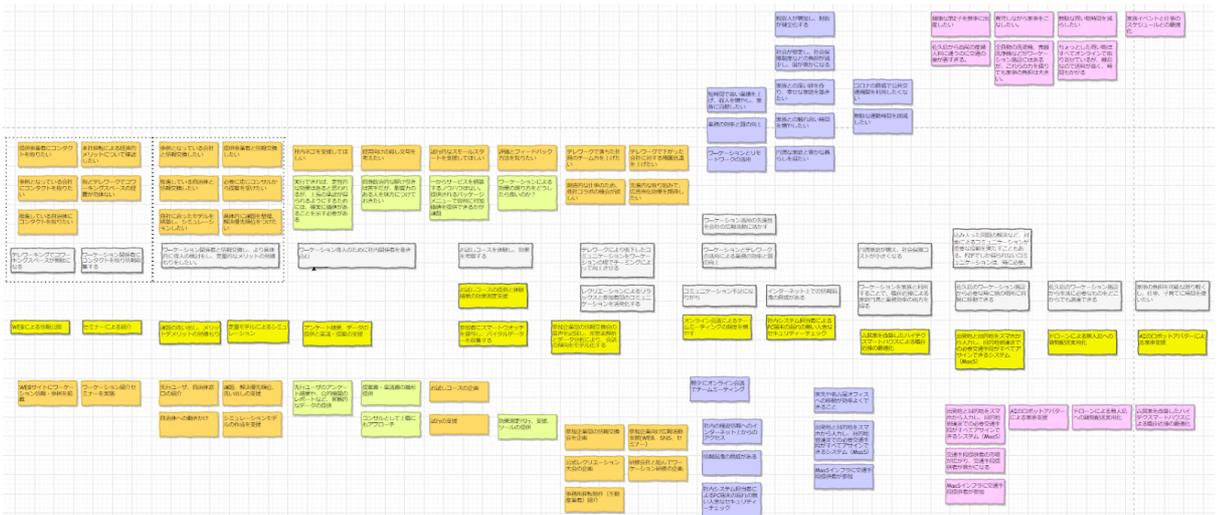
7. 成果物

(1) 宿題

① ニーズとシーズ纏め (鈴木)



② ニーズの集約とビジネスドライバ (近藤)



③ Causal Loop Diagram (近藤)

